

駐大阪・神戸アメリカ領事館・岡山大学共催 トム・ハーキン氏講演会

障害を持つアメリカ人法26周年：
その功績とこれからの課題

2016年9月30日(金) 14:00~16:00

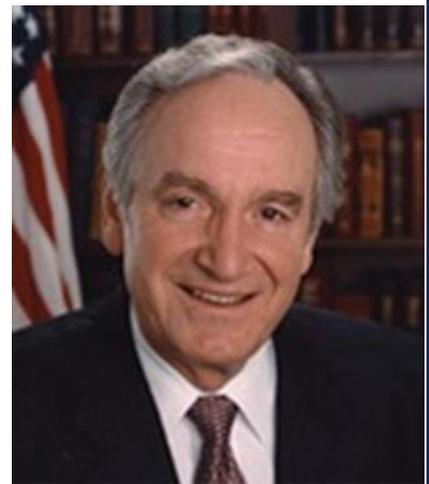
岡山大学津島キャンパス一般教育棟【B41】

参加無料（どなたでも参加できます。逐次通訳付）

【講師略歴】

トマス・リチャード・ハーキン氏
(Former Senator

Thomas Richard Harkin)



●元連邦議会上院議員（民主党、アイオワ州選出）

1939年11月アイオワ州カミング生まれ。
1962年アイオワ州立大学卒業。
1972年にアメリカ・カトリック法科大学卒業。

1974年にアイオワ州から民主党の連邦議会下院議員に当選。当選後はテッド・ケネディ上院議員に指名され、身体や精神に障害のあるアメリカ人の公民権を守る法律の草案に携わる。聴覚障害を持つ兄がいた経験を持つハーキン議員にとって、障害のある人が直面する様々な困難は兄を通して彼自身が直接経験したことであった。ハーキン議員の長年の尽力により障害者への差別を排除する包括的な法律、障害のあるアメリカ人法（ADA法）が1990年に制定される。また、この後も障害のあるアメリカ人があらゆる差別から継続して守られるように、オリン・ハッチ上院議員とともにADA改正法案を提出し、ADA改正法は2008年9月に成立した。

1984年から2015年まで5期にわたってアイオワ州選出の上院議員を務める。2015年に上院議員を引退。現在も生まれ育ったカミングの家で過ごしている。1968年に結婚した妻のルースとの間に2人の娘と3人の孫がいる。

お問い合わせ

岡山大学大学院教育学研究科 吉利 宗久

TEL: 086-251-7691 yositosi@okayama-u.ac.jp

科研費
KAKENHI